

花育について

【花育の意義】

幼児・児童に、やさしさや美しさを感じる**情操面の向上**、**農と接する体験教育の機会**を与える。
花きを介した**世代間交流の促進と地域コミュニティの再構築**につながる。
四季に応じ花きを楽しむ**日本の花き文化の継承**が期待される。

花育とは何か

【花育とは】

・花きの多様な機能()
に着目し、花きを教育、地
域活動等に取り入れる取
組

(注) 花きの多様な機能
癒し、情操の向上、地
域のコミュニケーションの創
造など

全国各地での取組事例(一例)

【事例1】世田谷花き園芸組合(東京都)

花き農家が区、小学校と連携して、小学生
への花の栽培を指導。小学生との交流を図
り、世田谷農業への理解を深めている。

〔平成18年度の取組実績
18校(延べ1,995名)〕



【事例2】(株)フローレンスエンティワン(東京都)

花きの仲卸業者が、子供達に花に触れ
る機会を作りたいと、児童センターにおい
て、花育教室を開催。「花に触れる楽しさ・
喜び・本物の感動」を伝えている。

〔平成18年までの取組実績
延べ448名〕



【事例3】「みやざきの花」普及促進協議会(宮崎県)

県と生産者・花き市場・花小売店等が協議会を組織
して、県教育委員会のサポートを得て、希望する小中
学校において、フラワーアレンジ教室を開催。花小売
店等が講師として、フラワーアレンジメントを指導。

〔平成18年度の取組実績
28校(延べ約2,070名)〕



花育活動への期待

多様な機能を持つ花きを教育等に取り
入れる取組(花育)を通じた世代間
交流の促進と地域コミュニティの再構
築

国民に健康で豊かな生活環境を提供

参加者からの感想:
「またやってみたい」、「花を身近に感じ
思いやりを持つことができた」、
学校の先生からの感想:
「学校内で育てている花の世話を熱心
に行うようになった」、「集中力・色彩感
覚を高め、感性豊かに育つための架
け橋となれた」
等の感想があげられ、評価を得ている。

花きを暮らしに取り入れた豊か
で潤いのある国民生活の実現